

## 2026年度 公益事業一覧

### 1 自主研究会事業

1	継続3年目	田中 笑子	当事者と支援者のウェルビーイングを高めるコミュニティ構築に向けた生存科学
2	継続3年目	高木美也子	IoT歯ブラシによる地域高齢者の口腔セルフケア行動分析と行動変容支援
3	継続3年目	長井 寿	「人類の安寧とより良き生存」を目指した工学倫理と工学教育
4	継続2年目	増田 一世	生存の理法と生存科学に基づく「生存ケア」の構築に関する実践的研究
5	継続2年目	小作 明則	里山林の生物多様性保全と自然環境教育 一国分寺崖線の谷戸地を対象として一
6	継続2年目	井上 信次	社会的に不利な状況にある人との共生に向けた社会の構築に向けた研究 —共生への意識に関する構造的要因の解明
7	継続2年目	清水 美香	レジリエントで持続可能な社会に関わる「生存」諸課題のための「超学際研究」：機能促進と実践モデル
8	新規	坪内 暁子	留学生・生徒・学生を対象とした参加型防災教育
9	新規	町澤 理子	豊かな孤独の時間の自己治癒力について—ものづくりとダンスオブスリー

#### 自主研究会事業(若手研究者)

1	新規	山本 銀兵	沖縄県民の健康の維持・増進を見据えた保幼ここの探求的カリキュラム
2	新規	朴峠 周子	大学生および大学院生の飲酒行動と孤独感に関する研究

### 2 助成研究事業

#### 1) 研究助成

##### (1) 生と死のはざまにおける心理社会的問題に関する研究

1	南 琴子(聖路加国際大学大学院)	Advance Care Planning導入後の終末期慢性閉塞性肺疾患療養者の生きる意味：現象学的研究
2	千葉 宏毅(北里大学医学部)	多疾患併存患者の訪問診療導入前・後における死亡場所・死亡要因、PROとの関連性に関する研究 一大規模データベース(DeSC)を用いたパターン推定一
3	出口 奈緒子(静岡大学 学術院教育学領域)	病いや障害のある子どものソーシャルインクルージョンを基盤とした学校教育の推進

##### (2) 「若い」と「老いる」に関わる研究

1	井藤 佳恵(東京都健康長寿医療センター)	老いの包摂をめぐる臨床人文学：予防と共生をつなぐ地域モデルの構築
2	小野 真由子(東京都健康長寿医療センター)	死を見据えたエンドオブライフ期にある高齢者が抱く感謝の意味
3	秋葉 峻介(山梨大学大学院総合医科学センター)	「変身(metamorphose/metamorphosis)」としての若いと人生の最終段階
4	金田 侑大(常磐病院乳腺甲状腺センター)	老いる地域を支える専門医横断型診療モデルの有効性と課題の検証

##### (3) 脆弱な立場の人に対する意思決定支援についての研究

1	清水 啓介(東京都健康長寿医療センター)	高齢者が自分らしく生きるための意思決定支援—周術期における高齢患者に対するAdvance Care Planningの在り方—
2	三上克央、木本啓太郎(東海大学医学部)	生化学的検査を考慮した子どもの精神状態の評価と治療
3	久保 恭子(東京医療保健大学)	在宅非侵襲的陽圧換気療法患者の呼吸終末二酸化炭素濃度の可視化と意思決定支援
4	大貫 陽一(東海大学医学部)	高齢慢性疼痛患者の神経症候性副作用の誤認と処方連鎖の予防—老いに配慮した意思決定支援と社会への啓発
5	遠藤 野ゆり(法政大学キャリアデザイン学部)	社会とのつながり経験は受刑者の更生意識—合理的・合法的意思決定力—を高めることに寄与するか

##### (4) その他(研究助成)

1	齋藤 直子(京都大学大学院)	もうひとつの死の教育：哲学・医療・宗教・アートの超学際的対話研究
2	山脇 功次(郡山女子大学短期大学部)	保育現場における幼児期の参加型食育プログラムの応用研究：複数拠点でのプログラム評価
3	後藤 あや(福島県立医科大学総合科学)	コンビニの利用と地域への愛着・信頼：場所・年代別層別分析
4	阿部 愛(聖路加国際大学大学院)	看護倫理教育における学生の専門職的価値観の獲得過程：教育実践からの考察
5	伯耆原 真理子(聖路加国際大学大学院)	わが国の「若者の生存」に関する問題状況とその構造の検討

#### 2) 公開講座・フォーラム等開催助成

1	本田美和子(国立病院機構東京医療センター)	国境なきユマニチュード： 急速な高齢化に向き合う開発途上国へのケア教育と国際協働の展望
---	-----------------------	--

### 3 生存科学叢書出版助成

生存科学研究所 出版委員会	委員会にて今後の計画予定
------------------	--------------

### 4 シンポジウム

第12回生存科学シンポジウムの開催
-------------------

## 5 その他公益事業

1	学術誌「生存科学」発行 年2回
2	広報活動 生存科学ニュース、ホームページ管理、40年史編纂事業
3	委員会活動 選考委員会、編集委員会、倫理委員会、自主研究・助成研究ヒアリング等